

平成26年度 第1回鳥取市景観形成審議会 議事録 要旨

日時：平成26年4月25日（金）13：30～15：00

場所：鳥取市役所駅南庁舎 B-1 会議室

審議委員 芦澤喜武委員【会長】、中橋文夫委員【副会長】、平井覚委員
来田裕子委員（欠席）、池本義隆委員（欠席）、松島勇委員、西山靖代委員
竹内秀徳委員、房安一也委員、平尾司砂委員、木下正昭委員、飼牛明委員
事務局 鳥取市都市整備部 大島英司部長、都市企画課、国森洋次長兼課長
山本勝信景観形成係長、本部良技師、廣谷一茂技師
道路課 谷口浩章課長、植田勝美主査兼係長
都市緑化推進室 三谷裕之室長

■ 審議会の経過

1 開 会

2 あいさつ

- (1) 会長あいさつ
- (2) 都市整備部長あいさつ

3 議事

- (1) 鳥取市緑のまちづくり基本構想策定方針（案）について
- (2) 鳥取駅南口交通広場整備について
 - ①経緯等の説明
 - ②現地説明
 - ③審議

4 その他

5 閉 会

■ 議事内容

3 議事

- (1) 鳥取市緑のまちづくり基本構想策定方針（案）について
※事務局から資料1を用いて報告：略

飼牛委員) 空き家条例と関係があるかわかりませんが、居住者がいなくなった敷地内に結構大木があります。大木の枝が折れたりして危険だってこともありますので、そういったものに対しては空き家条例の中に何かありますか？

事務局> 空き家条例は工作物を対象としているので直接は対象になりません。しかし、それも含めて問い合わせをお受けしようということにはしております。お話としては一体的にお受けしつつ市役所の中で協力をいただきながら進めてまいります。

芦澤会長) 緑の基本計画は緑を切って捨てる視点では捉えてないから、中にはそういったものは入っていないと思います。緑とは「緑＝環境＝景観」という広い意味での緑でありまして、そういったものを根本に立ち返って直すところは直したりして議論してほしいと思います。また、コンサルタントに全て任せずに、まずは専門家を呼んで「鳥取市の緑とは何か」を議論してから、そこから拡大して公募の方と一緒に議論をしてほしいと思います。

中橋副会長) 緑の基本計画の設計は地域の方、行政の方、学者を交えて設計するのが一番いいと思います。市役所の中で緑のプランニングが好きな人がいれば都市計画地図の上で防災やレクリエーションを解析して設計されるのがいいと思います。コンサルタントに任せずに市役所の方が自ら設計すると、これは本当に緑化せねばという気持ちになります。ですが、企画倒れにならないように先ほど会長がおっしゃられたように議論をしていただければと思います。

(2) 鳥取駅南口交通広場整備について

- ① ※事務局から資料2を用いて報告：略
- ② ※現地にて説明：略
- ③ ※再度会場にて審議

芦澤会長) 事務局から追加の説明があればお願いします。

事務局> 3案の図の東側の方にある丸い点で示している大きな木を配置するこのあたりで周りたいたいということを住民の方がご希望のようですが、こういうところで回転すると安全上危ないということがあります。この駐車場につきましては、30分無料というような形にしておりますので、周回する場合には一度ゲートをくぐって頂いてから出ていただくというような形になります。チケットを取る手間は増えますが、そのような形で安全を確保するための基本的な改修というようなことで地元の方にも説明をさせていただいているところです。

飼牛委員) 基本的には24時間？

事務局> そうです。基本的には24時間です。

芦澤会長) 現地でも話をしましたが、住民の方に説明するのもっといいパース図を描いて説明されたいと思います。木を描くときには、小さい緑の点等ではなく成長した幹の太さを表現してわかるようなパース図とかそういうものを書いて、こういう風になりますよという説明をしてあげた方がいいと思います。3案の外周に配置してある四角い点がありますが、ここには高木のほうがやっぱりいいなあとと思います。木下委員何か意見はありますか？

木下委員) やっぱり木の植え方の話ですけど、3案の部分の左側、駅側の広場のほう側にかなり大きなクスノキがあります。そのクスノキと平行に中低木を植えるのではなく、クスノキと中低木を千鳥状に並べるのがいいと思います。駅側から見た時に、クスノキと中低木が重ならないようにしたほうがいいのではないかと思います。それからもう一つは、マンション玄関前のサークル予定地に高木を植えようということですが、それがいいとは思いますが、まんまるではなく以前のような形にしたほうが事故が起きにくいのかなあとと思います。そのほうがどっちに行けばいいのか迷うような感じもしませんし。

芦澤会長) これは木を植えさえすればいいというようなものではなく、特にこのような空間は低木や中木を植えると、いわゆる死角を作ってしまう。駅前のケヤキも低木や中木で全部覆って死角を作ってしまったので、ゴミは捨てられるし見通しも悪いです。やはり公共の空間は見通しを良くしておかなくてはいけないと思います。外から見て、あそこに駐車場があるんだなということがわかるようにしておいてやらなければならないと思います。ですので、ここには高木を植え、下を透かして、上を緑の樹幹にして、空間の処理をした方がいいのではないかと思います。

中橋副会長) 3案の図にある三角形の植栽は高さ3メートルぐらいに変わるのでしたら、土もフラットじゃなくてちょっと土を盛ったらどうですか？柔らかい地形を作ってその高いところに高木を植える。この周りに背の低いサツキソウやマツバギク、芝桜等多年草を使う。そして樹木は落葉樹の株立ちをなるべく使う。そういうスケッチを描いて住民の方に見せればいいと思います。また、ゲートの開閉音がうるさい場合はメーカーに確認をされたほうがいいと思います。

事務局> ゲートの受けを外す方法もあるようなので、その辺の対応方法も考えてまいります。

芦澤会長) 都市計画においてマンション周辺は都市計画法上の用途地域では商業地域になっ

ています。それは良好な住宅環境を提供する地域ではないと思います。都市計画法とは個人の権利や財産権を制限する唯一の法律です。しかし、そうは言っても住民に対してできることはしてあげなければならないと思います。ですが、言われていることを全て受け入れるということにならないと思いますので、その辺は話し合っ、て、こういうことはできますとか、こういうふうには木はたくさん植えさせていただきますとか、だれどもこういうところはできませんとかそういうことで対処していかなければならないかなと思います。現地説明をしてできることはしてあげてください。また現地説明の時に年寄りの方がパーキング予定地あたりの段差から落ちたと住民の方から言われました。ですが、あそこは今度車道になるようですから段差を降りては危ないのですね？

事務局> そうですね。警察の方からはちょっと高さがある車止めがある状態で、タイヤがそこで引っかかるぐらいの段差がないと、誤って突っ込んでしまったら危ないという意見をいただきます。

芦澤会長) ですからそういう説明をきちっとしてあげて納得していただく。強引に進めないように進めていただけたらと思います。ついでだから申し上げますが、建築家は物があってこれはまずいなと思ったら塀などを作って隠してしまう。完全に隠すということが建築家の概念なのですが、造園家の概念というのは木を植えたりして物を隠したという概念です。完全には隠れませんがそこに木を植えて隠しましたと。それか別の場所に目を張る景色を作ってしまう、そちらへ視線を移すことによりそこを隠したという概念。その辺の違いや考え方を一般市民が知っていただければ、レベルの高い景観形成ができると思います。

房安委員) 3案の外周の四角い点は結局中低木になったのですか？高木になったのですか？

事務局> 外周の四角い点のところには中高木がいいのではないかと説明をさせて頂いたのですが、会長さんの方から高木のほうがいいのではないかと意見を頂きましたので、高木で考えています。

房安委員) 高木の高さがわからないが、だいたい高木の高さは何メートルというような定義があるのですか？

事務局> 高さが3メートルを超えるものを高木の扱いにしております。

房安委員) そうなると人間の目の高さからは見通しがよくなっていくという感じですか？

事務局> そうですね。

- 芦澤会長) 気をつけなければならないのは木が成長してアスファルト等を起こしてきていることです。木は植えたら植えっぱなしでなく、数十年間のスパンで考えなくてはならん問題だと思っています。
- 房安委員) 当然大きな木を植えれば根が張って大きくなるわけですから、そこら辺も今後きちんと管理しなくてはならないと思います。駅南ロータリーは遊歩道みたいなものですからね。
- 中橋副会長) 駅南ロータリーに何の木が合うのか考えてください。ヤマボウシとかいいと思います。そういったものを植えて、品格を出してほしいと思います。品格がある木を植えないと、高木だとか中木といっても魂がないような話だと思います。木本類からだけではなくて、カバープランツである宿根草、多年草を考えてください。植えつぶしはダメです。
- 芦澤会長) 今おっしゃられたヤマボウシは山の中に生えるものでして、過去に街路樹に植えてみたのですが失敗でした。というのが、風があるから白い花はすぐ茶色になって汚い感じになってしまいます。市道弥生橋通りはヤマボウシを植えるのですよね？あれは失敗だと思っています。また、落葉樹をちんちくりんに切ってみるなど、鳥取は剪定が間違っているので、緑化フェアの時にそういうことは議論して直していかなければならなかったと思います。
- 事務局> その辺りはまた緑の基本構想の中にどうやって盛り込んでいくか検討していきたいと思います。
- 木下委員) 事例があるかわかりませんが、東側の方に案内看板を出して、こっちには市営駐車場があるよってというような表示をして欲しいと思います。市営駐車場という名前ではなく、もっといい名前をつけてここから先は駐車場ということがよりわかるようにしていただければと思います。
- 事務局> 条例上では名前が決まっていますが、案内については検討していきたいと思いません。